

船舶事故調査報告書

平成27年5月21日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄司邦昭（部会長）

委員 小須田 敏

委員 根本美奈

事故種類	同乗者負傷
発生日時	平成26年8月16日 16時30分ごろ
発生場所	広島県江田島市長島南東岸沖 伝太郎鼻灯台 <small>でんたろうのはな</small> から真方位313° 3,600m付近 (概位 北緯34° 07.82′ 東経132° 25.15′)
事故調査の経過	平成26年8月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート ジュン JUNⅡ、5トン未満 270-30571広島、個人所有 6.57m (Lr) × 1.86m × 0.73m、FRP ディーゼル機関、26.48kW、昭和61年3月
乗組員等に関する情報	船長 男性 31歳 二級小型船舶操縦士 免許登録日 平成23年5月11日 免許証交付日 平成23年5月11日 (平成28年5月10日まで有効) 同乗者 男性 不詳
死傷者等	重傷 1人（同乗者）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、長島南東岸沖で錨泊中、船長が機関を後進にかけたところ、平成26年8月16日16時30分ごろ、船尾近くの海面から本船に戻ろうとしていた同乗者がプロペラに接触して負傷した。 同乗者は、搬送された病院で右大腿部裂傷と診断された。 (付図1 事故発生場所概略図 参照)
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期
その他の事項	船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していなかった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与	不明 不明

<p>気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>本船は、長島南東岸沖で錨泊中、船長が機関を後進にかけたことから、船尾近くの海面から本船に戻ろうとしていた同乗者がプロペラに接触して負傷した可能性があると考えられるが、船長及び同乗者から情報が得られなかったため、同乗者が負傷に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、長島南東岸沖で錨泊中、船長が機関を後進にかけたため、船尾近くの海面から本船に戻ろうとしていた同乗者がプロペラに接触したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機関を使用する際には、本船付近の海面を確認すること。

付図1 事故発生場所概略図

